

昭和48年度 和歌山県文化奨励賞

エトアール^{ようがかい}洋画会

創 立：大正14年

所 在 地：和歌山県和歌山市

会 員 数：12人

◎業績及び経歴

発足は、大正14年の秋で第1回展は同15年和歌山市新通り宮幸で開いた。

会員は、銀行員、歯科医、会社員、学校教員などアマチュアの集りとして結成した。

第2回展から春は和歌山城内商品陳列所、秋は市内随所で小品展を開いた。

昭和初期当時の和歌山洋画界は絵画熱がようやく高まりエトアール洋画会は、帝国美術院展、二科会展、独立美術協会展などへの出品者の集まりとして注目され県下美術界へ新鮮な息吹きを与え戦争勃発までつづけられたが第2次大戦中は、会名を木星会と改め展覧会は時局がら中止のやむなきにいたった。

昭和26年再びエトアール会として第15回展を丸正百貨店で開催し、以来毎年1回開かれその歴史は古い。

昭和46年県立近代美術館が完成してからは会場をここに移し今年第38回展を開いた。

会員はみな本職業のかたわら寸暇を利用しての作品であるが70点～80点の力作ぞろいがいつも出品され本県画壇の発展に寄与されるとともに本県文化の振興に貢献されている。